

⑪ 移行期医療について

治療や合併症の対応が長期化し、思春期、さらには成人期を迎えるにあたって、成人後も適切な医療を受けられるよう、小児を中心とした医療から、成人を対象とする医療に切り替えていくプロセス（過程）を移行といいます。

移行期の医療支援の目標は、「患者のセルフケア技術の獲得と意思決定への積極的な参加を促すための自立支援（自律支援）を行うことで、必要なケアを中断することなく、成人期の適切なケアに繋げること」です。

移行期医療について、お悩みがあれば、主治医や[札幌市小児慢性特定疾病児童等自立支援センター](#)にご相談ください。

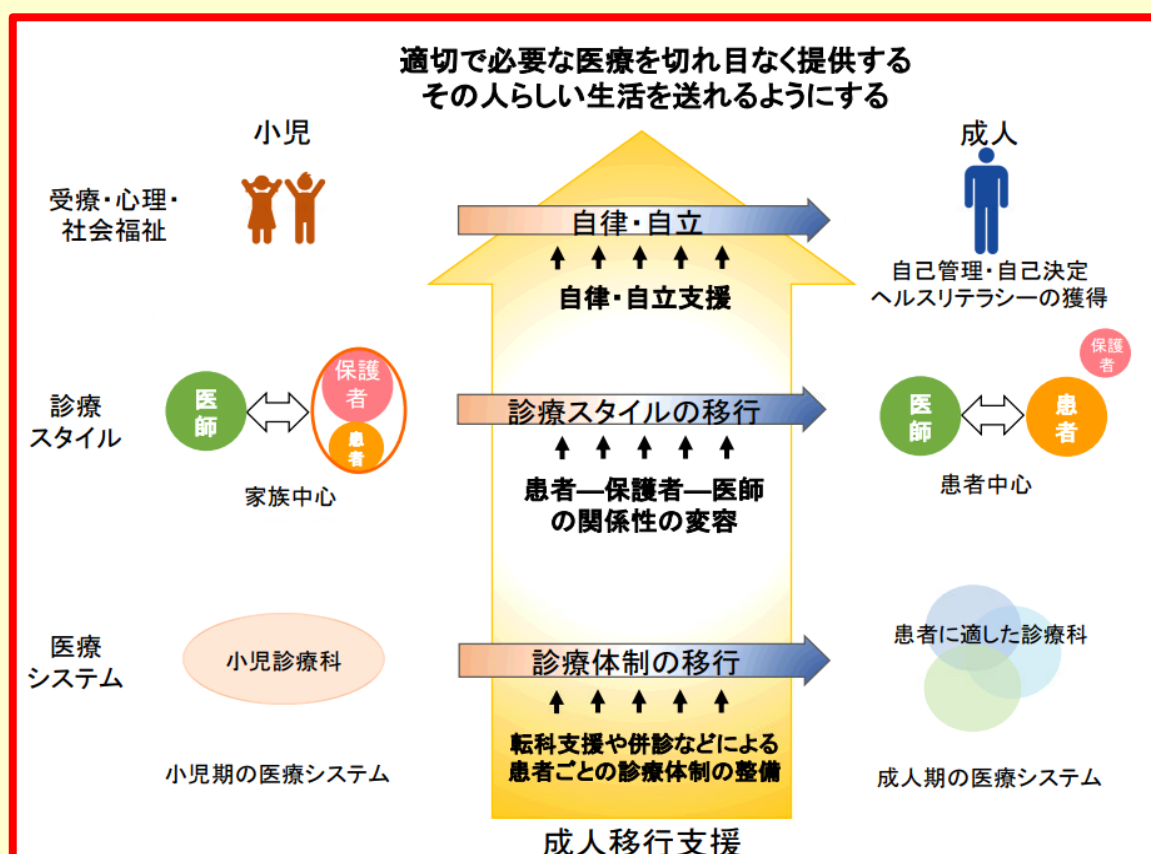
移行準備チェックリスト（一例）	はい	いいえ
自分の病名を言えますか		
自分の病状や治療内容を理解していますか		
診察時、医師に質問や自分の意見を言えますか		
困った時に、医師・看護師に相談できますか		
過去に受けた手術やアレルギーを説明できますか		
自分の病気を第三者に説明できますか		
薬の副作用が出たときどうすべきか知っていますか		
自分で外来の予約をとれますか		
自分でお金の管理をしていますか		
医療保険について説明できますか		
受診しなければならない症状を知っていますか		
移行準備に関心を持っていますか		

また、北海道では北海道移行期医療支援センターを設置し、移行期医療支援コーディネーターによる個別相談、移行に関する患者や関係機関からの相談に対応しています。

● 移行期医療支援センター

事業所名	所在地	電話番号
独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター	西区山の手 5 条 7 丁目 1 番 1 号	611-8196
北海道移行期医療支援センター （院内名称：小児慢性特定疾病・在宅・移行期医療支援センター）	【相談時間】 月～金 9：00～12：00／13：00～16：00	（移行期医療支援センター直通）

「成人移行支援の概念図」



トランジション（移行）は「小児期発症の慢性疾患を持つ患者が小児を対象としたヘルスケアから成人を対象とするヘルスケアへ切れ目なく移る計画的、継続的、包括的な患者中心のプロセス」を意味し、3本の横矢印で示した

① 自律・自立

② 診療スタイルの移行

③ 診療体制

の移行が柱となる。

成人移行支援はトランジションのための支援で、適切で必要な医療を切れ目なく提供することやその人らしい生活を送れることを目的とし、自律・自立支援、転科支援や併診などによる診療体制の整備が含まれる。自律・自立支援には、自己管理・自己決定・ヘルスリテラシー獲得のための支援や、就学・就労支援が含まれる。

（日本小児科学会ホームページ」より転載）